【科目名】　分野横断の最先端（Leading Edges of Interdisciplinary Fields）
【担当者】　猪原健弘、碓井誠、井手弘子、大澤恒夫

【概要】 最新の分野横断型の学問領域である、「サービス科学」、「ディジタル人文工学」、「合意形成学」について、各領域の先端的な取り組みを、外部講師を招いて紹介する。

【目的】 いま、科学技術と社会の間に、新しく、いくつかの分野横断型の学問領域が構築されつつある。科学技術を社会に「還元」し新たな社会を「創出」しようとする「サービス科学」。科学技術で社会を「把握・解釈」しようとする「ディジタル人文工学」。科学技術と社会を「接続」し社会を円滑に「運営」しようとする「合意形成学」。本講義では、理工系の専門知識と人文学・社会科学の融合を実現する、新世代の「分野横断型の理工系」を目指す学生に、これら３つの新たな学問領域の先端的な取り組みを紹介する。

【講義計画】　開講：後期、毎週水曜日 10:40-12:10[1]

テーマ１：サービス科学[2]　担当：碓井誠

10 月 6 日　第 1 回　社会の変化とサービス・イノベーションの進展
・生活者起点と価値共創型モデルへの転換
・サービス・イノベーションの位置付けと広がり
10 月 13 日　第 2 回　セブン-イレブンの戦略とサービス・イノベーション
・セブン-イレブンに見る業態形成と経営スタイル
・IT 活用とサービス・イノベーション
10 月 20 日　（予備日）
10 月 27 日　第 3 回　マーケティング、商品開発とプロモーションの革新
・共創型商品開発と POS 情報活用
・データベースマーケティングと CRM の先進事例
11 月 3 日　（祝日）
11 月 10 日　第 4 回　産業と社会に広がるサービス・イノベーションの流れ
・水平・垂直・異業種連携や地域連携の広がり
・医療サービスにおけるヘルスケアインフラの形成

テーマ２：ディジタル人文工学　担当：井手弘子

11 月 17 日　（予備日、防災訓練）
11 月 24 日　（予備日）
12 月 1 日　（予備日）
12 月 8 日　第 1 回　社会神経科学とニューロポリティクス
12 月 15 日　第 2 回（10:40-12:10）　ニューロポリティクスの方法
第 3 回（13:20-14:50）　選挙キャンペーンに関する fMRI 実験研究事例
第 4 回（15:00-16:30）　今後の可能性と課題

テーマ３：合意形成学　担当：大澤恒夫

12 月 22 日　【1 月 19 日の講義の準備作業】
1 月 12 日　第 1 回　「聴く」こと、「相談」を考える
1 月 19 日[3]　第 2 回　日常の「交渉」「ミディエイション」体験に学ぶ
1 月 26 日　第 3 回　「交渉」、「ミディエイション」を考える
2 月 2 日　第 4 回　ミディエイションを体験し、振り返る
2 月 9 日　（予備日）レポート提出期限

【成績評価】　レポート（各テーマにつき A4 用紙で 3 ページ程度）による。

---

[1]「ディジタル人文工学」の第 2 回、第 3 回、第 4 回は、ぞれぞれ、12 月 15 日の 10:40-12:10、13:20-14:50、15:00-16:30 に連続して行います。
[2] 教科書：碓井誠、「セブン-イレブン流　サービス・イノベーションの条件」
[3] 1 月 19 日の授業の前提として、受講者の皆さんに、日常の中で体験した交渉経験（例：アパートを借りた時の話し合い、旅行先の土産物屋での交渉、部活に関する学校との交渉など）やミディエイション経験（例：友人同士の間の問題を中に入って解決したなど）を、他人に語って差し支えない範囲で、予め A4 で 1 枚程度にまとめて頂きます。この作業は 12 月 22 日に行います。